

令和4年第7回  
久御山町教育委員会定例会  
議事録

令和4年 第7回久御山町教育委員会定例会 議事録

1. 招集年月日 令和4年8月18日
2. 招集の場所 久御山町庁舎2階会議室23
3. 開 会 令和4年8月18日 午前10時開会 宣告
4. 出席委員 内 田 智 子  
豊 田 美 幸  
阿 部 拓 児  
田 口 賀 彦

5. 職務のため出席した者の職氏名

教 育 次 長	田 井 稔
学校教育課長	星 野 佳 史
学校教育課長補佐	梶 原 哲 郎
生涯学習応援課長補佐	高 田 浩 史
書 記	山 村 彩 子

6. 付議案件

議案第16号 令和4年度久御山町一般会計補正予算（第3号）について

7. 会議の経過

午後10時00分 開会

○内田教育長 それでは定刻になりましたので、ただいまから令和4年第7回久御山町教育委員会定例会を開催いたします。なお、本日は寺井委員がご欠席でございます。本日の議事録の署名人は豊田委員であります。よろしくお願いたします。

前回、令和4年6月27日開催の第6回定例会議事録につきましては、先日配布してごらんいただいたと思います。よろしければご承認いただきたいと思います。よろしゅうございますか。

○全委員 はい。

○内田教育長 それでは第6回定例会議事録については承認されました。次に報告についてでございます。4点報告させていただきます。まず1点目でございますが、7月27日に民生教育常任委員会が開催されました。9月25日実施の第56回町民運動会、11月5日、6日に実施の第47回町民文化祭の概要と、旧山田家住宅の保存活用についての今後の予定について、行政報告を行わせていただきました。2点目でございますが、新型コロナウイルス感染症の状況についてでございます。ご存知の通り、本町におきましても7月上旬より感染者が非常に多く、増加しております。終業式を目前に控えた時期におきましては、東角小学校と御牧小学校におきまして学級閉鎖を行いました。また、中学校のクラブにおいても増加傾向が見られましたので、自主的にクラブ活動の中止期間を設けられて感染防止に努めました。現在は夏休み中でございますので、ご家庭からの感染の報告を受けている状況でございます。こども園につきましては、感染者が単発的ではございますが、このお盆明けからまた増加傾向でございます。8月29日から小

中学校につきましては2学期が始まりますので、感染防止に努めてまいりたいというふうに考えております。3点目です。中学校の夏季大会において、山城大会で好成績を収められたのが、剣道部、野球部、ソフトボール部、陸上部でございまして、府大会の方に出場いたしました。府大会においても、剣道部とソフトボール部が優勝され、陸上部は走り高跳び個人ですけれども、優勝されたということで全国大会に挑戦されるということです。この他のクラブにおきましても、本当にコロナ禍ではございましたけれども精一杯、どのクラブも力を出し切って、清々しく戦いを終えたというふうに聞いております。4点目でございます。7月20日より町民限定で町民プールを運営させていただいております。土日、お盆期間中は整理券取得者300名を上限として、8月31日まで開放しております。これまで約4000名の方が、ご利用されておられるということで報告を受けております。以上報告の方を終わらせていただきます。

それでは、議事に移ります。議案第16号令和4年度久御山町一般会計補正予算第3号についてを議題といたします。事務局より説明を求めます。まず初めに、学校教育課からお願いいたします。

○梶原学校教育課長補佐 それでは久御山町一般会計補正予算第3号のうち学校教育課の分を説明させていただきます。今回は歳入はありません。それでは歳出となります。1ページをごらんください。こちらこども園の運営事業でございます。この運営事業で470万8000円の減額となっております。次のページが内訳になっております。下の方に会計年度任用職員の保育士1名分の雇用に係る報酬を減額しております。これはクラス数の減少等により、当初24人で雇用を予定しておりますが、23人の雇用でクラス運営ができましたので減額するというものでございます。続きまして3ページになります。こちらの方はこども園の給食運営事業ということで、317万1000円の減額となっております。次のページが内訳になります。こちら人事異動等で配置替えをしまして、こども園の給食調理員が小学校に配置となったところにより減額です。こちらの方はさやまこども園の方から東角小学校の方に配置したということになっております。続きまして5ページになります。小学校の学力向上対策事業ということで、23万1000円の増額となっています。次のページが内訳となっております。こちらの方、学力診断テストの委託料となっております。理系教育の指導体制を強化するというので、理科につきましては、専科指導の先生が入りましたので、その効果や課題を検証するために独自の学力テストを実施するために、今までもしてございましたけど、理科というのを足して学力テストをするということで、補正で増額としてあげております。次に7ページになります。小学校の給食運営事業になります。こちらの方は449万6000円の増額です。次のページが内訳となります。こちら先ほどこども園で減額になった部分が小学校の方で増額ということで、配置換えになったことで269万7000円の増額となっております。加えて、負担金、補助及び交付金として物価高騰対策給食材料費の補助金ということで、179万9000円を増額しております。こちらの方は、物価高騰対策で給食材料費の補助なんですけれども、新型コロナウイルス感染症やウクライナの情勢を起因とした給食材料費の値上がりによって、給食会計が逼迫しております。そのような中、材料費の値上がりが一時的なもので上がっているのか先行き不透明な中で、やはり会計が苦しくなってきた

ております。給食費の値上げっていうのを本来実施すべきところなんですけれども、そうなりますと保護者の負担が急に増えることになりますので、今の時点は不透明なところもありますので、緊急避難的になるんですけれども、高騰分を補助していくということで補正をあげさせていただいております。それが179万9000円ということであげさせていただいております。そして次のページ10ページをごらんください。こちらの方中学校の給食運営事業で、103万8000円の増額となっております。こちらの方は11ページが内訳になるんですけれども、職員勤務手当を減額しております、人が変わったことによって減額になっております。それと先ほどの小学校費のところでありますように、負担金、補助及び交付金のところで、同じ理由なんですけど、給食材料費ということで、109万9000円を増額計上したものです。以上説明とさせていただきます。

○内田教育長 はい、説明が終わりました。質疑はございませんか。

○委員一同 はい。

○内田教育長 それでは続きまして、生涯学習応援課お願いいたします。

○高田生涯学習応援課長補佐 続きまして生涯学習応援課の歳入をごらんください。繰入金でふるさと応援基金繰入金（文化財費分）で87万円の増額です。内訳といたしましては、後ほど説明いたしますが、旧山田家住宅の保存活用事業の中で山田家の長屋門の壁の一部が剥落をいたしまして、その修繕にかかります費用に対しての繰入金の歳入です。あともう一つですけれども、耐震診断業務委託料として75万円。こちらは主屋に関しまして、耐震性について9月補正で予算がつかいましたが、大学の研究機関等にもご協力をいただいて、山田家の主屋の耐震性について、診断していただくというふうに考えております。その経費にかかります繰入金の歳入でございます。続きまして歳出をごらんください。歳出1ページです。全世代・全員活躍まちづくりセンター運営事業で23万1千円です。2ページ目をごらんいただきますとその内訳になっているんですけれども、公民館に変わります新たな生涯学習の拠点としてのまちづくりセンターなんですけれども、現在指定管理者として、株式会社アクティオと委託契約を締結をしておりますが、今年度から開館準備の業務の方を進めております。その業務内容につきまして、外部委員の方に検証いただくための委員会の設立を考えておまして、そこにかかります人件費をその他の謝礼の方で計上いたしました。あわせて需要費の方ですけれども、その際会議を開催いたしますときに発生します会議お茶代を計上してございます。続きまして3ページです。社会教育総務一般事務費で486万3000円です。ページめくっていただきまして4ページ目になります。こちらは、当初予算計上時は想定をしておらなかったんですけども、会計年度任用職員一般の方で、社会教育指導主事の方を当初予定より1名多く雇用をいたしました。それに関わります経費の全般でございます。続きまして5ページに移ります。旧山田家住宅保存活用事業で123万8000円の内示でございます。6ページをごらんください。先ほど、主屋の傾きと言っておりましたけれども、6月の議会などでも質疑があったんですが、今後は中長期的な見地から保存活用計画を立てて、総合的に対応していく必要があるというふうな方針でしております。その保存活用計画を策定するにあたりまして、関係の機関の先生方にご協力をいただきまして、検討委員会を今年度中に立ち上げて来年度の策定に向けて動き出したいというふうに

考えております。その他謝礼では、そこで設置いたします検討委員会の人件費の計上しております。需用費につきましては、その際の会議用お茶代でございます。修繕料は、先ほど申しました長屋門の壁の一部が剥落をいたしました。それに係ります修繕費用を計上してございます。その他の委託料の耐震診断業務なんですけれども、そちらの方が75万円計上しております。今のところ京都工芸繊維大学の研究チームの方にご助力をいただきまして、今年度と来年度の2ヶ年度をかけた、主屋の耐震性に関して、簡易な診断にはなるんですけれども、まずは診断の方をいただきまして、その結果を踏まえた保存活用計画の策定に向けて、同時進行で動きたいというふうなところで予算の方を計上してございます。続きまして7ページです。社会体育活動支援事業で3万5000円です。8ページをごらんいただきまして、スポーツ推進委員のジャージの費用、新たにメンバーの方へ加入されました委員さん宛にお渡しをしますジャージの費用を計上してございます。続きまして9ページ、町民運動会等体育大会事業で15万円の計上でございます。10ページをごらんいただきまして、一般報償費15万円が今回の内容となっております。町では、全国的な権威のある大会等に出場されます方に対しまして、激励金の支給をしておりますが、今年度は想定よりも早いペースで支出しておりますので、今後の激励金支給を見越しまして計上したものでございます。続きまして11ページです。保健体育総務一般事務費で3万6000円となります。次のページめくっていただきまして、こちらは教育委員会のジャージというふうなことで3万6000円計上しております。これは職員の人事の異動に関わるものでして、新たに職員になったものに配布するジャージの費用となります。以上です。

○内田教育長 説明が終わりました。質疑はございませんか。

○委員一同 はい。

○内田教育長 それでは、議案第16号を採決いたします。ご異議はございませんか。

○委員一同 はい。

○内田教育長 ないようでありますので、議案第16号については可決されました。本日の議案は以上であります。よって、本日の定例会を閉会いたします。

午前10時20分 終了

## ○報告事項

- (1) 令和4年度生徒指導の状況（1学期）について
- (2) 令和4年度いじめ調査の実施結果（1学期）について
- (3) 令和3年度久御山町一般会計決算（教育費）について
- (4) 地震発生時における学校等の対応について
- (5) 久御山町民運動会、町民文化祭について
- (6) 旧山田家住宅の保存と活用について

- (1) 令和4年度生徒指導の状況（1学期）について

## ○八木指導主事

- ・4月から7月の問題事象について、小学校における数は昨年度と同じように推移している。
- ・内容的には、掲示写真の損壊、水やりペットボトルや上靴がなくなる、ちょっかいをかける、物かくしというような内容となる。
- ・中学校の生徒間暴力について、例年並みで推移している。
- ・その他については、昨年度が62人に対して、今年度は49人となっている。
- ・内訳は多岐に渡っているが、特にSNS関係で4件上がっている。
- ・学校外で時間を潰して遅刻したというようなエスケープもある
- ・全体49件のうち2年生が36件となっている。中学2年生は、中学校生活のちょうど折り返し地点で、2年生の今の立ち位置の大きな影響が出ているのかなとも考えられる。
- ・現時点では、子供たちが教師に反目している状況には見られない。教師との信頼関係は築けている。担任や生徒指導などいろんな先生が子供たちに共感的な理解を示しながら関わっていただいている、それに対して生徒も信頼を示している。
- ・不登校の人数について、小学校は去年とそんなに大きくは変わらない。
- ・30日以上欠席者がいるが、大体8割、9割ほどの欠席率となっている。
- ・この子供たちが令和3年度に休んでいた年間の欠席日数にも、かなり迫ってきており、既に超えている子供もいる。
- ・特にこの30日以上欠席者は、去年から重点的にいろいろな外部機関とも連携した取組を行ってきたが、子供の問題というより、家庭の状況や保護者の意識が背景にあると考えている。
- ・中学校の不登校の人数は昨年よりやや少なめとなっている。
- ・しかし、30日以上欠席者については、ほぼ全員がもう8割以上欠席しており、長期化する傾向が顕著に見られる。

- (2) 令和4年度いじめ調査の実施結果（1学期）について

## ○八木指導主事

- ・いじめの認知件数について、昨年度と大きな傾向の変化はない。
- ・現時点では重大事態というのは存在しないので、今後の推移を注意深く見守っていく必要があると考えている。

・いじめ問題対策委員会の中で、令和3年度のいじめ調査についてのご意見等もいただいた。いじめの認知件数について、ばらつきがあることをどう考えていったらいいかという話も出た。久御山町に限らず出現率のばらつきは出ている。これはいじめの受け止め方に対する指導の違いが、一つの大きな原因となるのではないかという指摘もいただいた。できるだけばらつきが少ないようにするためにも、いじめというのはどういったことを言うのかということについて、もう少し町としても共通理解を進めながら、調査をしていったらいいのではないかというご意見もいただいているので、今後そういったご意見も含めながら、より精度の高いいじめ調査を実施していきたいと考えている。

○豊田委員

・各小学校や中学校は専任の指導主事がついているのか。定期的に連絡を取り合うような体制になっているのか。

○八木指導主事

・担当は決まっており、定期的に学校を訪問したり、管理職の先生とお話をしながら、様々な情報を聞く中で、教育委員会としてサポートできることをさせていただいている。担当以外の指導主事も、何かにつけて話を聞いて情報を持って帰ってくるということ行っている。

○阿部委員

・一昔前だと、喫煙や飲酒がかっこいいということで、不良行為の典型であったと思うが、今は価値観が変わり、喫煙や飲酒がかっこ悪いと思われるようになってきていると思う。その中で、このカテゴリーの分け方自体がもう既に機能していないところもある。不良行為に数字が上がらず、ほとんどがその他となっている。このようにカテゴリーの分け方が機能しないところを見ると、大人が築き上げた価値観に対する子供たちの抵抗の示し方が変わってるような気もするがどうか。

○八木指導主事

・いわゆる派手な一昔前の不良行為はもう今時はださいという考えはあると思う。

○内田教育長

・全国的にも反社会的な行動は減っているが、非社会的な行動ということで、ネットであつたり、引きこもりであつたり、見えにくい SNS の匿名での誹謗中傷のような形で出ていることが多いと聞いている。

(3) 令和3年度久御山町一般会計決算（教育費）について

○星野学校教育課長

- ・一般会計決算額 歳入 8,595,579,834 円（予算比 101.4%）  
歳出 8,147,317,501 円（予算比 96.1%）
- ・一般会計の中で、教育費 987,898 千円（令和2年度比 177,756 千円の減）
- ・減となった主な原因としては、令和2年度にタブレット購入と GIGA スクールの整備等、情報環境整備事業に大体 1.7 億円の支出をしていたため。
- ・特徴的なもの

- ・こども園施設整備事業 265,244 千円（とうずみこども園分園の解体、みまきこども園の整備）
- ・教育相談事業 9,303 千円（臨床心理士の配置時間の拡充）
- ・訪問型家庭教育支援事業 1,966 千円（SSW の配置時間の拡充）
- ・小中学校感染症防止対策事業 1,291 千円（児童生徒の机のパーティションの購入）
- ・中央公民館解体事業 156,486 千円
- ・文化財保護事業 21,313 千円（雙栗神社の本殿の屋根の葺き替えなど）

#### （４）地震発生時における学校等の対応について

##### ○星野学校教育課長

- ・最近規模の大きい地震が国内外で頻発をしており、いつ大規模な地震が起こるかわからない状況である。
- ・各園校においては危機管理マニュアルを整え、訓練などを実施をしているところ。
- ・これまで気象警報に関する休園・休校の整理はされていたが、規模の大きな地震の発生の際の整理がなされていなかった状況である。その中で大きな地震が発生すれば混乱を生じる可能性があったということで、一定の整理をしたところ。
- ・この整備については、文科省の学校防災作成の手引きや他市町の例を参考にした。
- ・基本的には震度 5 弱以上の地震が発生した際に、臨時休業になるということが一番ベースにある。それがいつ起こったかによってその対応が変わってくる。
- ・こども園については、基本保護者の送迎となるので、登園前に起こった場合は、その日は臨時休園になる。
- ・こども園の休みの日に起こった場合は、休業日明けを原則臨時休園とし、安全に使用をできると判断したときには、また連絡させていただいて再開をするというような形になる。
- ・登園中に起こった場合は、基本的には自宅に帰っていただき、在園中に起こった場合には、安全を確保した後に保護者への引き渡しを行う。降園中については、安全な場所へ一時避難し、その後自宅へ帰宅していただく。
- ・小学校については、登校班で登校するので、その場所によるが、揺れが収まった後、原則自宅か学校の近い方へ避難をする。在校中に起こった場合については、こども園と同じで、保護者への引き渡しを原則とさせていただく。中学生については、下校に際しての安全確認ができ次第、集団下校とする。
- ・下校中については、揺れがおさまった後、学校か自宅の近い方へ避難する。
- ・学童保育についても、基本的にはこども園、小中学校と同じ扱いで、地震が発生した後に、基本的には休級となり、また再開については追って連絡とする。
- ・7月の初旬に、学校を通じて保護者の方に配布をしたところ。

#### （５）久御山町民運動会、町民文化祭について

##### ○高田生涯学習応援課長補佐

- ・町民運動会について、今年度は第 56 回の開催となり、9 月 25 日日曜日に久御山中央



公園野球場を会場に実施する。

- ・3年ぶりに実施するが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の観点からプログラムを見直し、午前中でプログラムを終える内容となっている。
- ・50メートル走や障害物走など個人で気軽にご参加いただける競技や、自治会対抗種目についても、1チームあたりの編成人数を減らすなどして、参加者同士の接触を避け、玉入れ競技などでは軍手をつけて感染予防に努めるなど、工夫を凝らして運営をしている。
- ・町民文化祭については、今年度で47回目の開催となり、11月5日、6日の2日間、ふれあい交流館ゆうホールを会場に開催する。こちらも3年ぶりの開催になるが、新型コロナウイルス感染症感染防止対策の観点から、模擬店は行わず文化サークルによる展示の部並びに出演の部のみの開催とする。
- ・町民運動会、町民文化祭ともに、感染状況より中止の場合もある。

#### (6) 旧山田家住宅の保存と活用について

##### ○高田生涯学習応援課長補佐

- ・旧山田家住宅の保存と活用については、本町としては、中長期的な立場に立った保存活用計画を策定し、それに基づいて今後の保存と活用を推進していきたいと考えているが、専門家の方に現地を確認いただき、旧山田家住宅をより魅力的な施設にするための方策や安全性の確認についてご助言をいただいた。
- ・ただ建物を保存し、活用、公開するだけではなく、ストーリー性が感じられるような活用方法を今後は模索していく必要があるなどのご意見をいただいた。
- ・今後については、今年度中に保存活用計画の検討委員会を立ち上げ、それと同時に旧山田家住宅の主屋の耐震診断（簡易診断）を行う。
- ・保存活用計画が策定された後は、その計画に基づいて保存と活用を進めていく。

##### ○阿部委員

・助言の内容の一つ目、ストーリー性が感じられる活用方法というのは、まさしく文化遺産の保存活用のメインストリームである。旧山田家住宅と他のものを組み合わせて、久御山町という京都の南部の交通の要衝が、どういうふうに歴史的に重要だったのかっていうものをまず大きく作った上で、その中に旧山田家住宅をどう置くかっていうのが、今は大事になってきている。久御山町が平安京の都を中心とした歴史の中に、どうあるかっていうことを考えていくことが大切。

##### ○豊田委員

・保存と活用の活用ってというのはどの辺の幅まで見ておられるのか。旧山田家住宅には囲炉裏があるからお湯を沸かせるわけで、茶道体験ができないのか。また、野山の素材を使い、竹籠を編んだり、つるを取ってきてそれで籠を編んだりすることが、長いことブームなので、ちょっとした作業をして、昔の人もこんなところに座ってこんなことしてたかなってというような体験ができるといいが、そこまですると建物が痛むのかなと思ったり、活用というのはどの辺まで許されるんだろうなと思う。

○内田教育長

・老朽化があり、一般公開の際も畳の上には入っていただかないようにしている。耐震の問題もあり、もし何かことが起こったときに人命に関わるようなことがあるといけなないので、それも含めて耐震のことを調べて、どう補強するのか検討した上で考えていかなければならない。

(7) その他

○阿部委員

・GIGA スクールと並行して、リモート授業の環境の構築を模索していたと思う。iPad を家に持って帰ってきて、自宅のWi-Fi に繋いで、問題なく繋げることの確認をしたりした。新型コロナウイルスが流行し始めたころは、感染予防のために外出をしないために、リモートを積極的に導入しようという感じだったけれども、今は変わってきていて、無症状であったり、症状が軽いけれども外出できない人がリモートでやる人が多い。私自身も、自宅から授業していた。リモート環境の意味が変わってきていて、無症状とか軽症者で、外に出られない人がリモートをしていくという風に変ってきている。リモート環境の整備については、現在どうなっているのか。

○内田教育長

・軽症の子供たちにビデオを流している学校がある。リモート環境にもトライしているので、今後どんどん進めていかなければならない。

○阿部委員

・一方で大学生とは違って小学校3年生が、リモートでiPad の画面で先生が話しているものを集中して、自分の方から聞きに行っていくのかといったら多分できないだろうなとも思ったので、何かもっと違う活用方法を積極的に検討していてもいいんじゃないかと思う。

・私がリモートを導入して、一番効果的だと思うのは1対1である。1対多数のリモートは難しい。でも1対1の状況においては、リモートはすごく強いので、例えば今までだとの卒論指導では、私が大学にいる時間の空き時間と学生の空き時間を合わせてやっていたが、今はぱっと合わせて、お互い画面見ながら指導ができ、むしろ対面よりも質が高い。小学校の環境で1対1はなかなかないが、例えば個人面談の時に、働いている親御さんでも、半休を取って学校まで行かなくても、1時間の休みを取って職場から面談ができたりする。授業以外の使い方を模索してもいいんじゃないかと思う。